

平成28年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

甲信越ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者制度に関して、最も不適當なものはどれか。

1. 基幹技能者制度は、建設省が平成 7 年 4 月に策定した「建設産業政策大綱」において『古来から継承される伝統的な技能者像』として基幹技能者を重点的に確保育成できるようにすることが求められるようになった。
2. 基幹技能者制度は、平成 8 年に専門工事業団体による民間資格としてスタートした。
3. 平成 19 年に中央建設審議会において「法令に基づく制度化を前提に、基幹技能者を優遇」することが承認された。
4. 国土交通大臣が登録した機関が実施する登録基幹技能者講習の修了者は、登録基幹技能者として認められ、経営事項審査においても加点評価（3 点）の対象となった。

問題 2 技能者の呼称の内容に関して、最も不適當なものはどれか。

1. 補助者として作業する見習者も含め、上司の直接的指揮・指導の下、安全に作業できるものを初級技能者という。
2. 業種に応じた資格を有し、上司の指導に基づき部下を指示し、自らも技能を発揮し、安全に直接的施工にあたるものを職長という。
3. 業種に応じた資格を有し、優れた直接的施工能力を持ち、担当工事現場の責任者として工程・施工・安全等の管理と作業の指揮・指導を行う、基幹技能者になり得る資格を有するものを上級技能者という。
4. 現場をまとめることはもとより、生産性の向上、品質、コスト、安全の確保など多岐にわたり役割を果たす上級職長を登録基幹技能者という。

問題 3 登録基幹技能者の役割に関して、最も不適當なものはどれか。

1. 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整等
2. 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順等の構成
3. 設計者に対する施工に係る指示、指導
4. 前工程・後工程に配慮した他の職長との連絡・調整

問題4 (一社)日本建設業連合会(以下、「日建連」という)に加盟している元請企業団体における登録基幹技能者の評価・活用に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 日建連では、平成21年に発表した「建設技能者の人材確保・育成に関する提言」の施策の一つとして、優良職長手当制度を設けた。
2. 登録基幹技能者の中から、日建連会員企業が特に優秀と認めた者を優良技能者と認定することとした。
3. 日建連では、登録基幹技能者のうち優良技能者の標準目標年収が600万円以上となるよう努めることとしている。
4. 日建連では、技能者の中で職長資格のみを支給条件としている。

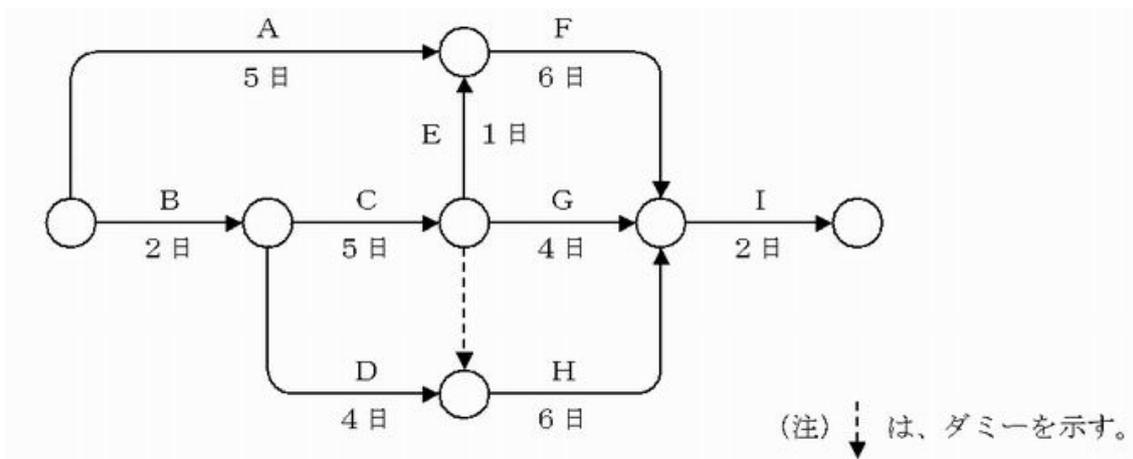
問題5 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

1. ある程度の経験を有し、それなりの作業能力という観点では、上級技能者を指揮・監督できるだけの十分な作業能力を有すること。
2. 技術の進展等に的確に対応した知識という観点では、元請の技術者の示す施工計画等から、現場に適した技能面からの施工方法、作業手順、工夫の提案能力を有すること。
3. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力という観点では、技術者、他の職長との調整能力を有すること。
4. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力という観点では、一般の技能者に対する指導、統率力を有すること。

問題6 OJT教育における一般事項に関して、最も不適当なものはどれか。

1. OJTとは、職場の上司が部下の育成のために、日常の仕事を通して行う指導・教育のことである。
2. OJT教育には、日常仕事を離れて行われる集合研修・教育のことである。
3. OJTとは、On the Job Trainingの略称である。
4. OJTでは、個々の教育ニーズを踏まえ、各職階に求められる役割・技能と教育・訓練事項を定めて、これらの教育訓練計画にそって、個別の指導をすることが必要である。

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表は、ネットワーク式工程表である。
2. この工程表のクリティカルパスは、B→C→E→F→Iである。
3. このプロジェクトの所要日数（工期）は、17日である。
4. この工程表における点矢線はダミーであり、作業はない。

問題8 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令における建設工事の規模に関する基準に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建築物（建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第1号に規定する建築物をいう。以下同じ。）に係る解体工事については、当該建築物（当該解体工事に係る部分に限る。）の床面積の合計が80平方メートルであるもの。
2. 建築物に係る新築または増築の工事については、当該建築物（増築の工事にあつては、当該工事に係る部分に限る。）の床面積の合計が500平方メートルであるもの。
3. 建築物に係る新築工事等（法第2条第3項第2号に規定する新築工事等をいう。以下同じ。）であつて前号に規定する新築または増築の工事に該当しないものについては、その請負代金の額（法第9条第1項に規定する自主施工者が施工するものについては、これを請負人に施工させることとした場合における適正な請負代金相当額。次号において同じ。）が1億円であるもの。
4. 建築物以外のものに係る解体工事または新築工事等については、その請負代金の額が300万円であるもの。

問題 9 建設業法における「工事材料の品質および検査」の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 工事材料につき設計図書にその品質が明示されていないものは、上級の品質を有するものとする。
2. 下請負人は、工事材料については、使用前に監督員の検査に合格したものを使用する。
3. 下請負人は、工事現場内に搬入した工事材料を監督員の承諾を受けずに工事現場外に搬出しない。
4. 下請負人は、検査の結果不合格と決定された工事材料については遅滞なく工事現場外に搬出する。

問題 10 ブレインストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

1. BS 法とは、アレックス・F・オズボーンによって考案された会議方式のひとつ。集団思考、集団発想法、課題抽出ともいう。
2. BS は、集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法である。
3. アイデアの質にこだわり、アイデアを量産することは後回しにする。
4. 誰かのアイデアに対してそこから連想されるもの、その他のアイデアとの結合を意識することで様々なアイデアへと発展させることができる。

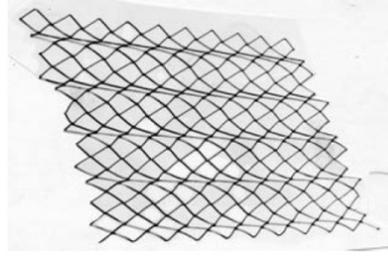
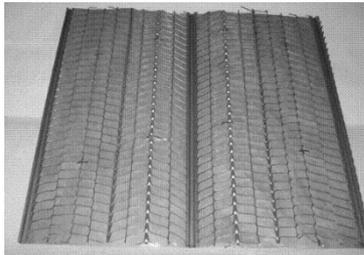
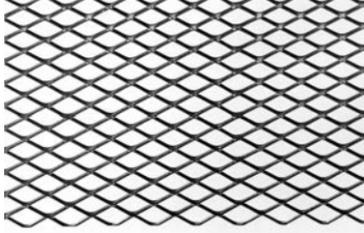
問題 11 現場調合セメントモルタルの塗り工法の塗り厚に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 1回の塗り厚は、6mmを標準とし、9mm を限度とする。
2. 仕上げ厚は、天井、庇が12mm 以下とし、その他が30 mm以下とする。
3. ALC パネル下地の総塗り厚は、15mm 程度を上限とする。
4. モルタルの総塗り厚が35mmを超える場合は、溶接金網、アンカーピンまたはネットなどを取り付けた上で、モルタルを塗付する。

問題 1 2 仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせで、最も不適当なものはどれか。

	仕上塗材の種類	呼び名
1.	内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材	内装薄塗材G
2.	内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	内装薄塗材E
3.	内装セメント系薄付け仕上塗材	内装薄塗材C
4.	内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材	内装薄塗材W

問題 1 3 1から4のラスの名称と図の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか

	ラスの名称	図
1.	波形ラス	
2.	防水紙付きリブ系ラス	
3.	平ラス	
4.	リブラス	

問題 1 4 左官仕上げの検査の基準として、最も不適当なものはどれか。

1. 仕上がり状態で室内壁の誤差は、 $\pm 5 \text{ mm}/1 \text{ スパン (6m)}$ 以内とする。
2. 壁の幅木周りの誤差は、3m につき 3 mm以内とする。
3. 接着強度は、外壁で $10\text{kgf}/\text{cm}^2$ 以上とする。
4. 接着強度は、内壁で $2\text{kgf}/\text{cm}^2$ 以上とする。

問題 1 5 左官材料に関する用語と解説で、最も不適当なものはどれか。

1. メチルセルロースは界面活性剤で、漆喰用の糊として使用される。
2. 再乳化形粉末樹脂は加水して攪拌・混合することで、合成樹脂エマルジョンになる。
3. セルフレベリング流しこむだけで、平坦になる性質のこと。
4. のろとは、乳化剤の作用により小さな粒になって水の中に分散したもの。

問題 1 6 左官に関する用語と解説で、最も不適当なものはどれか。

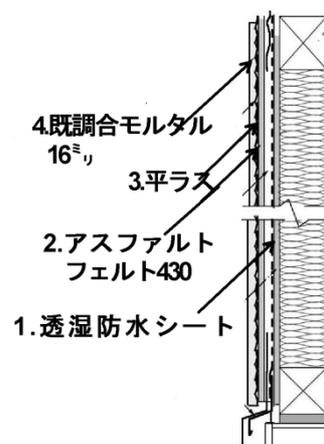
1. スラリーとは、液体中に細かい固体粒子が濃厚に混合され、かつ安定の状態にあるもの。
2. エフロレッセンスとは、セメントを用いた材料の硬化後の表面に発生する白い綿状の結晶物のこと。
3. レイタンスとは、極度に乾燥し、水分の不足によって硬化不良になり、強度不足を招く状態のこと。
4. ブリージングとは、コンクリートおよびモルタルの練り混ぜ水の一部が分離して上方に移動する現象のこと。

問題 1 7 塗り壁の故障の原因・内容・是正措置のそれぞれの組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか

1. 硫化物を含む砂は、変色を発生しやすくなるので、取り替える処理が必要である。
2. エフロレッセンスは、しみ・はく離を発生するので、除去することが必要である。
3. 上塗り富調合は、ひび割れや剥離を発生させるので、下塗りほど貧調合にする。
4. 未乾燥のモルタルにせっこうプラスターを塗ると、はく離やひび割れが発生するので、モルタルを十分に乾燥さえから塗る。

問題 18 二層通気構法の図にある仕様で、使用部位・材料として、最も不適当なものはどれか。

1. 透湿防水シート
2. アスファルトフェルト 430
3. 平ラス
4. 既調合モルタル 16^{ミリ}



問題 19 施工計画の目標に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 適切な品質を確保する。
2. コンプライアンスを遵守する。
3. 適切な価格で施工する。
4. 所定の工事期間内に施工する。

問題 20 搬入計画における揚重計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 揚重機器の効率を考慮して計画する。
2. 揚重機器の荷重制限、寸法制限を把握し、資材の大きさ、重量、数量等から荷姿、梱包方法を検討する。
3. 資材の保管場所は、その工事の作業場にできるだけ近い場所に設置する。
4. 資材によってどの揚重機器が最適か検討する。

問題 21 建設工事の原価について、最も不適当なものはどれか。

1. 実行予算は、元積りと請負金額をもとに、ゼネコンとしてこの工事で確保したい本・支店経費や利益をはじめに差し引き、残りの部分が現場に渡され予算を作成する。
2. 入札価格は、ゼネコンなど元請建設会社自らが最初に行う原価予測である。
3. 事後原価は、工事が終了して初めて明らかになる原価である。
4. 予定価格は、ゼネコンなどの元請建設会社が予測する原価である。

問題 2 2 タイル下地におけるコンクリート面の下地処理について**最も不適当なもの**はどれか。

1. コンクリート表面を削り落すサンダー掛け工法は、処理後の水洗いが必要であり、目荒らし効果もあまり期待できない。
2. コンクリート打設前、型枠面に専用の中空樹脂シートを張り、コンクリート表面に凹凸を作る MCR 工法は、モルタルが凹凸に食い込むことで剥離安全性を確保する。
3. 吐出圧 5 0 MPa 程度の高圧水洗浄法は、コンクリート面の清掃を行い、同時に表面に凹凸をつけ、目荒らし効果が期待できる。
4. 超高压洗浄法では、コンクリート表面を水圧で傷つけ凹凸を作り、モルタルの付着力を高めている。

問題 2 3 わが国建設業における労働災害の現状について次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 労働災害とは、就業中の負傷や死亡する災害のほか、通勤中でのそれも含まれる。
2. 建設業は KY 活動が活発なため、他産業と比べて労働災害発生率が低い産業である。
3. 建設業の安全対策が難しい理由のひとつは、雇用期間が短いため継続的な訓練が実施しにくいことが挙げられる。
4. 死亡災害を事故の型別で見ると、建設工事全体では墜落の比率が最も多い。

問題 2 4 法で定められた建設現場における安全管理について次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 複数業者が混在する 65 人の建設現場では、安全管理のために元請業者は統括安全衛生責任者を選任する必要がある。
2. ガス圧接作業は、作業主任者を選任しなければならない作業に含まれる。
3. 元請業者は多忙であれば、現場で新たに就労する作業員に対して新規入場者教育を省略することができる。
4. 安全管理を進めるために、ハインリッヒの法則に従って「ヒヤリ」「ハット」を減少させることは有効である。

問題 25 各種労働災害防止について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. リフォーム工事では、既存建物、植栽、側溝等、足場の支障になるものが多く存在するので事前の現地調査が必要である。
2. 高さが 3m の所で行う作業なので、作業床を設置した。
3. 解体工事では、石綿による健康障害防止対策を考える必要がある。
4. 居ながらリフォーム工事では多くの場合、電機やガスを止めずに作業を行うので安全である。